

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2023年9月)

2023年9月  
在アルジェリア日本国大使館

**内政**

- 2日、野党・社会主義勢力戦線(FFS)は、国内対話イニシアティブの概要を発表し、テブン大統領に提出。
- 3日、テブン大統領は、モハメド・ラアガブ氏を報道相に任命。
- 4日、当国議会は、両院の常会を開始。
- 4日、テブン大統領は、3日に発生したトレムセン県及びエル・バヤード県での洪水を受け、被害者及び遺族への哀悼の意を表明。
- 6日、テブン大統領は、ベンムルード・デジタル・統計相をデジタル担当高等弁務官に任命。
- 6日、テブン大統領は、県知事11人と副県知事2人の退任、県知事10人と副県知事5人の異動、県知事12人と副県知事7人の任命を発表。
- 7日、シェングリハ国軍参謀総長は、ウム・エル・ブアギ県の空軍基地を視察。
- 10日、テブン大統領は、ベンプラハム国立市民社会監視機構(ONSC)代表と会談。
- 12日、テブン大統領は、2023年修正予算案、教育機関の新学期、国内の消費市場、その他市民生活に関わる重要な決定について議論のため閣議を招集。
- 15日、国際民主主義デー(注:毎年9月15日)に際して発表された声明の中で、国民評議会(上院)は、当国はテブン大統領が国家元首に選出された後に取り組んだ立て直し計画、選挙公約の履行、2020年の憲法改正を通じて、民主主義が強化されている旨を表明。
- 23日、ラアガブ報道相は、記者の特別な地位に関する法案の完成を発表。

**外交**

- 3日、マグラマン外務次官は、当地訪問中のハリス米 국무省近東局次官代理と会談。
- 4日、サイヒ保健相は、第27回中国医療使節団の任務終了の記念式典を主催。
- 5日、アッターフ外相は、英の北アフリカ担当相のアフマド卿と電話会談。
- 6日、アッターフ外相は、トルコを訪問し、エルドアン大統領を表敬。
- 6日、シェングリハ国軍参謀総長は、バーンズ米中央情報局(CIA)長官と電話会談。
- 7日、アッターフ外相は、トルコ訪問に際し、フィダン・トルコ外相と共に両国合同計画委員会共同議長を務めたほか、両国外相会談や記者会見等を実施。
- 8日、外務省はコミュニケにて、マリで発生したテロ事件を強く非難し、マリへの同情と連帯の意を表明。
- 8-9日、アッターフ外相は、ハンガリーを訪問し、シーヤールトー外相と会談。
- 9-11日、外務省はコミュニケにて、モロッコでの地震を受け、哀悼の意を表明。大統領

領府及び外務省はコミュニケにて、物的・人的支援の提供を表明したが、モロッコ外務省から当国提案の支援を必要としないと通告があった旨公表。

●10－11日、マルオッティ・伊国務院長官は、当国を訪問し、アズアール議会関係相、テッビ法務・国璽相、ラアガブ報道相らと会談。

●11日、外務省はコミュニケにて、リビアでの洪水を受け、哀悼の意を表し、翌12日、アッターフ外相はメンフィ・リビア首脳評議会(PC)議長と電話会談し、リビアに対し食料品や医療機器を始めとする人道支援物資を空輸が開始。更に13日、メラッド内務・地方自治・国土整備相、サイヒ保健相、クリク国民連帯・家族・女性相ら政府代表団がトリポリを訪問。

●13日、アッターフ外相は、タヤーニ伊外相と電話会談。

●13日、アッターフ外相は、当国訪問中のデ・ミストウラ国連事務総長西サハラ担当特使と会談。

●18日、ザアラニ国家人権評議会(CNDH)議長は、当国訪問中の平和的集会と結社の自由に関するヴァール国連特別報告者と面会。

●19－21日、ニューヨークを訪問中のテブン大統領は、20日に一般討論演説を行うとともに、ガーナ大統領、スイス大統領、イラン大統領、パレスチナ大統領、トルコ大統領、南アフリカ大統領、ウガンダ副大統領、キューバ大統領、国連事務総長、チュニジア外相、ウガンダ副大統領、伊首相、ギニアビサウ大統領、リベリア大統領、第78回国連総会議長、キューバ大統領、チュニジア外相、ウガンダ副大統領、伊首相らと会談。

●22日、ニューヨークを訪問中のアッターフ外相は、2024年に開催予定のAUテロ関係首脳会議に向けた準備会合に出席するとともに、ヌーランド米 국무次官(政務担当)率いる米代表団と会談。23日、アラブ・アフリカ・パートナーシップ調整委員会閣僚会合に出席するとともに、安保理非常任理事国を来年から務める韓国、ベラルーシ、ガイアナ、スロベニア、シエラレオネの外相と会談。24日、AU平和・安全保障理事会(PSC)閣僚会合に出席するとともに、ファキ・アフリカ連合委員会(AUC)委員長らと会談。

●23日、テブン大統領は、ナポリターノ前伊大統領の死去を受け、マッタレッタ大統領に哀悼メッセージを発出。

●23－24日、タルマール・リビア女性担当相は、当国を訪問し、クリク国民連帯・家族・女性相、ベンアブドゥラフマーン首相、ブガリ国民議会(下院)議長と会談。

●24日、ベンアブドゥラフマーン首相は、フネイフェト・ヨルダン農業相と会談。

●25日、ブガリ下院議長は、イスラム協力機構(OIC)議会連合の会合にオンライン出席。

●27日、当国を訪問したクロセット伊国防相は、シェングリハ国軍参謀総長及びテブン大統領と面会。

●27日、韓国、仏、デンマーク、トルコの新任駐アルジェリア大使が、テブン大統領に信任状を奉呈。

●27日、テブン大統領は、イラク北部での火災を受け、哀悼の意を表明。

●29日、外務省はコミュニケにて、パキスタン南西部で発生した自爆テロを最も強い表現で非難。

●30日、アルジェリアは、国際原子力機関(IAEA)総会において次期理事国に選出。

## 経済

●1日、農業・農村開発省は、特に穀物分野の生産促進を目的として、40万ヘクタール以上を南部に割り当て、投資家に分配した旨発表。

●2日、全国農業共済金庫(CNMA)は、2022年の収入が前年比3%増の130.6億ディナールに達した旨発表。

●2日、Medgaz社は、2022年の収入が、前年比19%増の2億9576万ユーロに達した旨発表。

●3日、中国JACの代理店である Emin auto は、中国から輸入したトラック500台がジジェル港に到着した旨発表。同代理店CEOは、今年中に2万台を輸入する意向を示した。

●4日、グジル国民評議会(上院)議長は、当国の外貨準備高が850億に達した旨発言。

●4日、国家統計局(ONS)は、7月の消費者物価指数が前月比0.6%、昨年比9.4%上昇した旨発表。農産物は11.4%、食肉は0.7%、工業用食品は0.8%上昇。

●4日、国営電子産業公社(ENIE)は、銀行サービス会社(SSB)との間で2万台の電子決済端末(TPE)製造契約を、小学校向けに7万2千台の電子タブレットの供給に関する教育省との契約の2つに調印した。

●5日、バダニ漁業・漁業生産相は、ジジェル港を訪問し一日に10トンの魚介類保存用の製氷設備の完成式を主催。

●5日、ハッカール国営炭化水素公社ソナトラック総裁は、エネルギー生産能力向上と研究・探査の促進を目的とした3次元地震調査計画の開始を発表。

●6日、バダニ漁業・漁業生産相は、スキクダ県を訪問し、職業カードのデジタル化を始め、2024年1月から全国の漁港でデジタル化を推進する旨発表。

●6日、デルバル水相は、エル・タルフ県を訪問し、同県の5つの海水淡水化施設を2024年12月末までに完了するよう指示。

●5日、ナグザ・アルジェリア企業総連合(CGEA)会長がテブン大統領宛に輸入に関する混乱や食料価格高騰の解決に係る提案の書簡を発出。

●7日、アウン産業・製薬相は、サイダル社が中国パートナーとの協力協定により、2024年上期中にインスリンの生産を開始し、2024年末までのインスリン生産の完全国内自給の見通しを発表。

●7日、アウン産業・製薬相は、国内製造の伊・フィアット車が12月から市場に出る予定である旨発表。また、中国JACと独OPELについては、設立認可は取得したものの、規制当局の認可も取得する必要があるとしつつ、工場建設に着手していない限り輸入許可を得ることができない旨発言。

●7日、ファーイド財務相は、ゲイレガットIMF中東・中央アジア部アルジェリア担当らとのIMF第4条ミッションの議長を務め、当国マクロ経済指標の改善を強調。

●10日、国家統計局(ONS)は、2023年第1四半期の対外貿易の単位金額指数に関する報告書を発表。同期輸出額は、前年同期比で横ばいとなり、1兆8,658億ディナー

ル。同期輸入額は1兆3,716億ディナールで、前年同期比で1.6%減少。貿易収支額は4,942億ディナールの黒字、輸出による輸入のカバー率は、136%に上昇(前年同時期は133.8%)。

●10日、ソナトラックは、グループ内の汚職行為を全国規模で報告及び発見するための新デジタルプラットフォーム「SPEAK UP」を立ち上げ。

●10日、農業・農村開発省は、食肉の輸入再開を発表。11日、ヘンニー農業・農村開発相は、食肉の輸入は、全国の畜産を保護し、市場と国民への正常な供給を確保することを目的とした一時的な措置である旨発言。

●10日、アルジェリア貿易社会投資機構とセネガル貿易者連合は、アフリカ市場へのアルジェリア産品の輸出増加を目的とした、両国の市場調査に関する知見や情報の交換に関する13の貿易協定・契約に調印。

●11日、ファード財務相は、農業投資促進を目的とし、アリ・マズルイ・アラブ農業投資開発機関(AAAID)議長と面会。

●11日、ヘンニー農業・農村開発相は、2023-2028年穀物セクター開発戦略を発表。最近の国際情勢を踏まえて講じた一連の措置、特に穀物産業庁(OAIC)による穀物購入価格の約30%引上げと、肥料に対する補助率の50%(以前は20%)引上げに言及。

●11日、ベシャル県知事は、二国間パートナーシップの一環として、鉄鉱石輸送のためのベシャル・ティンドゥフ間の鉄道プロジェクトに関して、鉄道職業訓練センターの開設を発表。これを受けて13日、中国土木工程集団(CCECC)グループは、ベシャル県への鉄道専門の職業訓練機関の設立を発表。

●13日、アウン産業・製薬相は、中国JACグループとEMIN Auto社から代表団を迎え、アイン・テムシエント県におけるJAC自動車の生産プロジェクトの進捗状況を視察。

●13日、オランでアルジェリア・中国ビジネスフォーラムが開催され、産業・製薬省及び商業・輸出促進省も出席。双方から、中国50社を含む計80社以上が参加し、15のパートナーシップ協定が調印。

●15日、バダリ高等教育・科学研究相と、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、ハバナで開催されたG77+中国サミットに参加。10億米ドルをアフリカ諸国の持続的開発に投資する旨発表。

●15日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、チュニスにて第5回アルジェリア・チュニジア貿易監視合同委員会の共同議長を務め、国境地帯や自由区域における経済開発や貿易障害を議論。

●16日、アルジェリア銀行・金融協会(ABEF)のイスラム金融委員会(IFC)委員長は、イスラム預貯金が7000億ディナールに達した旨発表。

●16日、ウガンダ酪農開発局(ODA)は、5億米ドルに相当する12万トンの粉ミルクを第一便として当地に輸出する旨発表。

●16日、伊ENIは、当地のガス生産を日量95キロバレルから日量120キロバレルに増加する旨発表。

●17日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、第47回アラブ中央銀行・金融機関総裁議会

に出席。2022年のGDPが2330億米ドルに達した旨発表。

●18日、CREA代表は、大統領を表敬したのち、CREAが違法行為を報告していた、外国為替犯罪撲滅に係る省庁間委員会が14日に凍結された旨発表。

●18日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、オマーン・シュラ評議会議長と会談。そのほか、ショルファ運輸相、エネルギー・鉱業相、ブガリ下院議長とも会談し、空輸やエネルギー、鉱山業につき協議。

●18日、仏税関は、アルジェリア産天然ガスの輸入が2023年上半期に同期比92.1%増の15億ユーロになった旨発表。

●19日、TIN FOUYE TABANKORT (TFT) グループ(ソナトラック51%、仏トタルエナジーズ49%)は、イリジ地域にある新しい11のガス田の拡張と接続の工事を開始するべく、ソナトラック子会社ENGTPと80億ディナールに及ぶ契約を発注。

●20日、ファード財務相とジトゥニ商業・輸出促進相は、モーリタニアに開設された海外初のアルジェリア・ユニオン銀行(AUB)開設式に出席。

●21日、アルジェリア中央銀行(BNA)の金融・銀行委員会は、両替所の認可・設立・承認・運営条件に関する規則案を採択。

●22日、アルジェリア航空は、アルジェとアディスアベバ間の直行便を就航。

●23日、農業・農村開発省は、疾患予防のため、仏産の生牛の輸入の即時停止を発表。

●23日、アルジェリア投資促進庁(AAPI)は、2022年11月から本年8月31日の間に新たに3411件のプロジェクト登録があった旨発表。

●24日、ファード財務相は、下院財務予算委員会に2023年予算法改正案を提出し、翌25日に同案の詳細を説明。国際的な炭化水素価格高騰による国際収支の改善、歳入増を背景に、当初予算比で歳入13%、歳出6.7%規模の拡大を見込む。

●25日、ベライド・アルジェリア銀行・金融協会(ABEF)会長は、アルジェリアの銀行が、セネガル、モーリタニアに続いて、近くコートジボワールに開設される旨発表。

●25日、ソネルガスは、2000MWの太陽光発電所建設計画に係る入札の価格札の開札の結果、73の入札者が審査を通過した旨発表。

●25日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、ガニヤ・ウシェイト国家貿易促進庁(ALGEX)の新長官の任命を発表。

●28日、アルジェリア投資促進庁(AAPI)は、8月末までに観光部門関係の投資計画が129件(合計約637億ディナール)登録された旨発表。

●28日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、Intra African Trade Fair(IATF2023)に先立つハイレベル・プロモーションツアーの開幕式に出席。

●28日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、石油輸出国機構(OPEC)のアルジェ合意7周年に際し、同合意が加盟国・非加盟国間の協力枠組みの基礎を築いた旨発言。

## 治安

●6日、国軍は同4日にボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人が軍当局へ投降した旨発表。

- 7日、国軍は、8月30日－9月5日実施の掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕した旨発表。また、ブーメルデス県で、手榴弾10個、手製爆弾4個、双眼鏡1台及び爆発物等の隠匿されたテログループの拠点7か所を発見し処理。
- 10日、憲兵隊は、アルジェ県南部のドウエラ地区において、集合住宅での刃物を用いた強盗、恐喝等の容疑により、街頭暴力集団の構成員10人を逮捕した旨発表。
- 12日、アルジェ空港警察は、外貨持ち出し制限違反の容疑で、トルコ行きの旅客2人から合計6万5,100ユーロを押収のうえ、同人らを逮捕した旨発表。
- 14日、国軍は、6日－12日実施の掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕し、カラシニコフ短機関銃2丁、手製爆弾4個及び大量の弾薬を押収した旨発表。
- 14日から17日にかけ、ベジャイア県、ティジ・ウズ県など14県の50か所以上で発生した森林火災につき、憲兵隊は18日、ベジャイア県で放火容疑により3人を逮捕した旨発表。
- 21日、国軍は、13日－19日実施の掃討作戦でテログループ支援者6人を逮捕した旨発表。また、トレムセン県で手製爆弾5個を発見し処理。
- 21日、モスタガネム県警察は、2千ディナール紙幣を偽造し流通させた容疑で2人を逮捕し、紙幣偽造用機器を押収した旨発表。
- 24日、アルジェ県警察は、本年の預言者聖誕祭(9月28日)に向け販売されようとしていた密輸品、約4億ディナール相当の花火と爆竹150万点以上を押収のうえ、密輸グループの構成員4人を逮捕した旨発表。
- 27日、エル・ウェッド県警察は、敵国と内通し国民の統合及び国家機関の安定を損なう情報や映像などをネットで発信した嫌疑で、15人のグループを検挙した旨発表。